

第七十四回帝國議會
衆議院

軍馬資源保護法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
軍馬資源保護法案(政府提出)
種馬統制法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月十四日(火曜日)午前十時二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事佐藤謙之輔君 理事土田 莊助君

理事中野 寅吉君 理事大石 倫治君

坂下仙一郎君 松尾 三藏君

服部 英明君 鈴木憲太郎君

遠山 房吉君 小串 清一君

坪山 德彌君 泉 國三郎君

小笠原八十美君 池田七郎兵衛君

永田 良吉君 陣 軍吉君

野溝 勝君 富吉 榮二君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 中村 明人君

農林參與官 林 讓治君

農林省畜産局長 岸 良一君

馬政局長官 荷見 安君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍馬資源保護法案(政府提出)

種馬統制法案(政府提出)

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、

泉君ニ發言ヲ許シマス、一寸御斷リシテ置

キマスガ、大臣ハ貴族院ニ豫算案ガ出テ居ルノデ、今一寸出席ガ出來マセスガ、暇ガ出來次第此方ヘ參ルト云フコトノ通知ガゴザイマシタ、左様御承知ヲ願ヒマス

○泉委員 本委員會ニ付託ニナリマシタル

馬ニ關スル二ツノ法案ニ關聯致シマシテ、

政府ノ所信ヲ質シタイト思フノデアリマス、

第一ニ伺ヒマスコトハ馬政國策ノ基礎問題

ニ關シテデアリマス、其ノ中ノ一點ハ、馬

政國策ノ大要ヲ先ヅ吾々ガ一瞥致シマスノ

ニ、第二次馬政計畫ヲ變更セラレテ、茲ニ

新シキ計畫ヲ立テラレタ、ソレハ有事ニ際

シテ軍所要ノ軍馬ノ供給ヲ容易ナラシムル

ト共ニ、努メテ産業ニ及ボスベキ支障ヲ輕減

シ、廣義國防上ノ要求ヲ充足スル爲ニハ軍

所要ノ有能馬、殊ニ戰列部隊所要ノ有能馬

ヲ供給スルコトヲ主眼トシテ、銳意内地保

有馬ノ資質ノ向上ヲ圖ルト共ニ、從來ノ内

地保有馬百五十萬頭ノ維持ニ努メ、内地ニ

保有スベキ軍用適齡馬五歲以上十七歲以下

ノ馬總數ヲ、少クトモ百萬頭ヲ保有セント

スルモノガ、此ノ新シキ馬ニ關スル政策

ノヤウニ承ツテ居リマス、然ルニ是ハ洵ニ

容易ナラザル努力ヲ要スルモノデアルト私

ハ思フノデアリマス、今之ヲ既往ノ歴史ニ鑑ミテ檢討致シマスルノニ、馬ノ飼養戸數ニ於テ昭和十一年度ニ於キマシテハ百七萬四千戸デアリマス、大正十三年ノ百十七萬戸ヲ指數一〇〇ト致シマスレバ、九一・七デアリマス、飼養戸數ニ於テ茲ニ十萬戸ヲ減ジテ居リマス、一箇年ニハ千三百戸ノ割合ヲ以テ減少シテ居ルノデアリマス、馬ノ保有頭數ニ於テ之ヲ見マスルニ、昭和十一年現在ノ保有馬數ハ百四十三萬一千頭、明治三十三年カラ同三十七年マデノ五箇年間ノ平均百五十萬頭ノ保有量ヲ指數一〇〇ト致シマスレバ、同三十八年カラ四十二年マデノ五箇年平均指數一〇五・一ヲ絶頂ト致シマシテ、昭和元年頃ヨリ低下ノ一路ヲ辿ツテ居リマス、百五十萬頭ヲ維持スルコトガ出來ナイデ居ルノデアリマス、昭和十一年現在ノ百四十三萬頭ハ指數九五・四デアリマス、昭和十二年ノ七月ニ支那事變ガ勃發致シマシテ以來ハ、其ノ數字ハ今申上ゲ兼ね

ガアルコトハ論ヲ俟クナイ所デアリマス、然ラバ今度ハ馬ハ如何ナル割合デ生産サレテ居ルカ、之ヲ見マスルノニ昭和七年ヨリ十一年ニ至ル最近五箇年平均一箇年ノ生産數ハ十一萬七千餘頭、昭和十一年ノ如キハ十二萬七千頭、之ヲ明治三十八年カラ四十二年ニ至ル五箇年平均ノ指數百ニ比較致シマスレバ正ニ二二〇・六、即チ二割ノ生産數ニ於テノ増加デアリマス、馬ノ保有量ハ段少クナツタガ、生産率ハ増加シテ居ル、是ハ取モ直サズ種付等ノ官行ガ勵行サレタ結果デ、洵ニ喜バシイコトデアリマス、然ルニ今度ハ馬ハ如何ナル率デ失ハレデ居ルカト云フコトヲ見マスルノニ、昭和七年ヨリ十一年ニ至ル最近五箇年平均一箇年二萬八千餘頭ノ馬ガ斃死シテ居リマス、同ジク八萬九千餘頭ノ馬ガ年々屠殺サレテ居リマス、殊ニ昭和十一年度ニハ九萬五千頭ト云フ驚クベキ馬ガ屠殺サレテ、其ノ數ヲ増加シテ居ルノデアリマス、是ニ由ツテ之ヲ觀ル時ニハ即チ最近五箇年ノ成績ニ依リマスレバ、一箇年ニ失ハル所ノ馬ハ斃死二萬八千餘頭、屠殺八萬九千餘頭、合計十一萬八千餘頭ニナルニ對シテ生産サレテ居ル所ノ

馬ハ十一万七千餘頭、差引一箇年八百五十頭ヅツノ馬ノ保有量ガ、減少サレテ行クト云フ實情ナノデアリマス、是ハ洵ニ憂フベキ事情デアルト思フノデアリマス、軍モ政府モ馬ノ保有量ヲ維持シヨウトスルノガ目標デアリマスノニ、事實ハ

馬ノ飼養戸數ニ於テモ、頭數ニ於テモ減少シツツアル、十二年ヨリハ支那事變ノ發生ト云フ特別事情ニ因リ、更ニ相當數量ノ馬ガ失ハレタコトハ勿論デアリマス、更ニ滿洲等ノ馬政計畫ノ爲ニ優良牡馬並ニ種牝馬ヲ輸出シナケレバナリマセス、隨テ内地保有馬數ハ益々減少スルト見ナケレバナラスノデアリマス、是等ノ實情ニ鑑ミルトキ、國內ニ當時百五十万頭ノ保有量ヲ維持スルト云フコトハ、是ハ言フベクシテ中々至難ナ問題デアルト私ハ思フノデアリマス、此ノ既往ノ事實ニ鑑ミテ政府當局ニ何等カ特別ナ方策ガアル、今マデ御示シニナツタ御説明ニナツタダケノ資料ヲ以テシテハ、吾々ハ容易ニ此ノ成績ヲ擧ゲルコトハ出來ナイト思ツテ居リマス、特別ナ方策ガ鞏固ナル決意ノ下ニ樹立セラレナケレバ、此ノ目的ハ貫徹致サナイ、之ニ對スル政府ノ對策ガ如何デアルカ、先ヅ此ノ點ヲ御聽キシタイノデアリマス、直チニ答辯ヲ願フヨリ、二三私

ノ所見ヲ述ベテ置イタ方が都合ガ好イト思ヒマスカラ、續ケテ參リマス、大臣ガオ出デニナレバ結構デアリマスカラ、オ出デニナラヌサウデアリマスカラ、農林當局カラ御答辯ヲ伺ヒタイ

ソレカラ質問ノ二ハ、軍用適齡馬トシテ内地ニ保有スベキ馬ガ、五歳以上十七歳以下少クトモ百万頭デアリマス、是ハ曩ニ質問シタ通りニ、内地保有馬總數百五十万頭以上ヲ維持スル場合ニ、軍用適齡馬百万頭ナノデアアルカラ、保有量ガ百五十万頭ニ達セナイトシマス場合ニハ、此ノ適齡馬モヤハリ百万頭ニ充タナイニ決ツテ居ルノデアリマス、假ニ軍用適齡馬ガ百万頭アツタトシテ、是ハ單ニ年齡ガ軍用ニ適スルト云フダケデアリマス、年齡ダケガ適齡ダカラト云ツテ、直チニ是ガ軍馬ニ適スルト云フモノデハナイノデアリマス、軍ノ所要スル所ノ馬ハ低身、廣軀、四肢強健ニシテ負擔力、輓曳力並ニ持久力ニ富ミ、中等體尺者ノ乗御使役ニ便ニシテ、飼養管理容易ナルモノデナケレバナリマセス、即チ各部ノ對稱宜シキヲ得、筋腱良ク發育シ、肢勢正良、關節堅牢、蹄質堅韌、性質溫良、惡癖ナク悍威アルモノデナケレバナリマセス、之ヲ乘馬トシテ見ル場合ニ、長軀短背、胸深

ク肩斜ニシテ後軀力アリ運動輕快步樣低伸潤大、此ノ標準ガ體高一・五三米、體重ハ四百六十瓩、百二十瓩乃至百四十瓩ノ負擔力ヲ持ツテ、常歩ハ一分間百米、駢歩ノ如キハ三百二十米、持久力ハ騎兵部隊トシテ連日行軍ハ一日六十瓩乃至八十瓩行クモノデナケレバナラス、是ガ軍ノ要求スル馬デアリマス、又之ヲ砲兵輓馬トシテ見マス場合ハ、體量豐ニシテ厚頸長軀、強筋充實シ、力量ニ富ミ步樣確實ナルモ、此ノ標準ハ體高一・五五米、體重ハ五百瓩、輓曳力ハ三聯總量二千六百五十瓩、常歩ニ於テ一分間ニ八十六米、速歩二百二十米、駢歩ノ場合ニ三百二十米、持久力ハ毎日四十瓩乃至六十瓩デナケレバナラス、斯ウ云フ馬ガ軍ニ所要セラレテ居リマス、併シナガラズノ如キ優良ナル馬ハ、サウ澤山アルモノデハナイノデアリマス、其ノ内今内地ニ此ノ理想ト標準ニ近い馬ヲ何程持ツテ居ラレルカ、單ニ適齡馬ヲ百万頭保持シタダケデハ、未ダ全シトハ言ヘマセス、其ノ百万頭ノ軍用適齡馬ガ前述シタル標準ナリ、規格ナリニ適合シタ場合ニ、初メテ馬政國策ガ完成シタト言ヒ得ルデアリマセウ、併シ是亦非常ニ至難ナ事業デアルト言ハナケレバナラスノデアリマス、政府當局ハ如何ニシテ之ヲ達

成セントシツツアルカ、何時其ノ目標ニ達シ得ル見込ガアルカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

ソレカラ質問ノ三デアリマスカラ、政府ガ新ニ立テラレタル馬政計畫ニ依ツテ、種馬ハ整備サレ、其ノ配合ハ統制サレルノデアリマセウ、地域的ニ役馬別ニ一貫シタ產馬方針ガ確立サレ、所謂適地適種主義ガ採用サレ、其ノ結果トシテ、或ル地域ハ乘馬產地、或ル地域ハ輓馬、或ル地域ハ小格輓馬、斯ウ云フ具合ニ方針ガ定メラレテ、國

ノミガ專有スル所ノ種馬ヲ此ノ方針ニ基イテ配置スルノデアリマセウカラ、無論國家百年ノ馬政計畫ハ、斯クアラネバナラスコトハ勿論デアリマスルガ、其ノ結果トシテ、當局ハ乘馬、輓馬共ニ「アングロノルマン」又ハ「アングロノルマン」輕種、中半血種ナドノ中間種ノ生産ニ重キヲ置イテ居ルノデアリマスノデ、例ヘバ乘馬產地ト致シマシテハ、今マデ輕種ノ「アラブ」、「サラブレッド」、「アングロアラブ」及ビ是等ノ輕種ノ生産ニ努メテ來タ產地ガ、中間種ノ増繁ノ爲メ「アングロノルマン」同ジク「アングロノルマン」輕種トカ中半血種等ノ生産ニ變ツテ行カナケレバナラスノデアリマス、或ハ又從來ノ乘馬產地ガ今度ノ方針ニ依ツテ、輓馬

產地トサレルヤウナ地域モ少クハナイト思フノデアリマス「ペルシヨシ」ノ如キ重種ハ、是ハ北海道ノ如キ特定ノ地域ニ限ラレテ、今マデハ分布發達シテ來タノデアリマスカラ、大シタ問題ハナイノデアリマスガ、此ノ輕種ハ相當廣汎ナ地域ニ現在ハ分布シテ居ルデアラウト想像サレルノデアリマス、之ヲ中間種ニ轉向サセル場合ニ、若クハ乘馬產地ガ輓馬產地ニ移行スル場合等ニ、生産者側ハ優良馬ヲ產出スル爲ニハ、是カラ長イ年月ノ苦心ト努力ガ拂ハレナケレバナラナイノデアリマス、其ノ犧牲モ決シテ少クナイト思ハレルノデアリマス、又地域のデハナイト致シマシテモ、馬ノ生産地ニ、會テ移動ノ自由ナ時代ニハ、現在特定サレマシタ小格輓馬ノ產地デアリマシテモ、乘馬ヤ輓馬ニ適スル優良牝馬ヲ輸入シテ、育成シテ居ツタモノガアツタデアリマセウガ、最早サウ云フ地域ニハ乘馬ヤ輓馬ノ種牝馬ガ、配置サレナイノデアリマスカラ、是ト配合スルコトガ出來ナイト云フ結果ニナルノデアリマス、若シ之ヲ、自分ノ持つテ居ル牝馬ヲ乘馬ナリ輓馬ナリトシテ配合シテ出シタ場合ニハ、相當良イ馬ヲ出スコトガ出來テモ、種馬ガ小格輓馬用ノ種馬デアツテモ、ソレニ配合シテ、サウシテ自分

ガ優良ナルモノヲ出シ得ルカヲ持つテ居ルニ拘ラズ、出シ得ナカツタト云フヤウナ犧牲モ亦少クナイデアラウト思フノデアリマス、サウ云フ箇々ノ不便ヲモ多ク見ナケレバナラナイト思フノデアリマス、而モ是等ノ犧牲ハ生産者ガ求メテ得タモノデハナクシテ、政府ノ馬政計畫ノ變更ガ此ノ犧牲ヲ強ユルノデアリマスカラ、政府ハ其ノ責任ジテ其ノ犧牲ヲ分擔シナケレバナラナイ責任ガアルト、私ハ思フノデアリマスガ、政府ハ是等ノ犧牲ニ對シテ如何ナル考ヲ持つテ居ラレルカ、又今後斯ウ云フ風ナ馬政計畫ニ依ツテ、今マデノ色々ノ種類ノモノガ當局ノ理想トスル馬ニ改善サレテ行ク爲ニハ、今後如何程ノ時日ヲ必要トスルカト云フヤウナ點、是ガ御伺ヒシタイニ三點デアリマス、先ヅ此ノ三點ニ付テ、後ノ點ハ農林及陸軍當局カラ、前ノ二點ハ農林當局デ結構デス、御答ヲ希望致シテ置キマス

○荷見政府委員 只今ノ御話ノ第一點ハ、今度ノ内地馬政計畫ニ依リマシテ、内地保有馬ノ頭數ヲ相當數標準ヲ定メテ維持ニ努メルト云フコトガアルノデアルガ、色々ノ情勢カラ見ルト、此ノ維持ハ困難デアアルト思フガドウカ、ト云フヤウナ御話ノヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、之ニ付キマシ

テハ、御述ベノ通りニ、統計上ノ數字ハ色々變更致シテ居リマシテ、相當減少シテ居ルヤウニモ見エルノデアリマスガ、政府ト致シマシテハ此ノ問題ニ付テハ、第一生産力擴充ノ方策ヲ出來ルダケ講ジテ居ルノデアリマス、種牝馬ノ増繁デアリマストカ、或ハ種牝馬ニ對スル各種ノ獎勵施設ト云フヤウナコトヲ、特ニ一昨年アタリヨリ豫算ヲ以テ施行致シテ居ルノデアリマス、尙ホ滿洲ノ移植ト云フヤウナコトガアリマスト、尙ホ數ガ減少スルデハナイカト云フコトデアリマスガ、新馬政計畫ニ於キマシテハ、是等ノ方面ニ對スル生産力擴充方策ニ付キマシテモ、御手許ニ差上ガマシタ内地馬政計畫提要ノ中ニモアリマスヤウニ、相當ノ施設ヲ講ズルコトニナツテ居ルノデアリマ

ス

第二ハ軍馬資源ノ充實問題デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ、軍馬資源ヲ充實致シマスコトハ極メテ適當デアアルノミナラズ緊要ナ事項デアアルト思ヒマスノデ、今回御審議ヲ願ツテ居リマスル軍馬資源ノ保護法案ト云フヤウナ制度ヲ、新シク御協賛ヲ願ヒマシテ、軍用保護馬ノ制度ヲ設ケマシテ、内地保有馬ノ資質ノ向上ニ努メマシテ、有事ノ際ノ軍ノ所要ヲ滿スニ遺憾ナキヲ期シタイ、斯様ナ風ニ考ヘテ居リマスノデ、軍用保護馬ノ制度ハ、法律案ニ付テモ御覽ノヤウニ、大體軍用ニ適スル馬ヲ檢査致シマシテ、ソレニ合格シタモノヲ軍用保護馬ニ指定致シ、軍用保護馬ニ對シテハ飼養ヲ容易ナラシムル爲ニ、財政ノ許ス限りニ於テ飼育ノ補助金ヲ交付スル、尙ホ之ニ所要ノ鍛鍊ヲ加ヘルコトニ致シマシテ、馬ノ天賦ノ能力ノ發揮ヲ容易ナラシムルヤウニ致シマシテ、軍馬資源ニ付テ遺憾ナキヲ期シタイ、斯様ナ考デ計畫ヲ立テテ居ルノデアリマス、御心配ノ點ニ付キマシテハ、此ノ法案竝ニ豫算ガ成立致シマスレバ、吾々トシテハ所期ノ效果ヲ擧ゲ得ルコトト信ジテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ第三ノ御質問ノ、今回ノ馬政計畫ノ變更ニ依リマシテ、輕種產地ノ方デ、此ノ新馬政計畫ニ適スルヤウナ種類ノ馬ニ移行スル爲ニハ、色々ノ不便ガアルト思フガ、之ニ對シテ政府ハ如何ニ考ヘルカト云フ御質問ト拜承致シマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ、輕種產地地方ニ於テ御不便ガアリマスコトハ、想像致シ得ルノデアリマシテ、之ニ付テハ出來ル限り其ノ障礙ヲ緩和スルヤウナ方策ヲ講ジタイト思ヒマシテ、陸軍ノ當局トモ連絡ヲ致シテ居ル次第デア

リマス

尙ホ此ノ際ノコトデアリマシテ、ドウシ
テモシナケレバナラナイ馬政計畫デアリマ
スカラ、其ノ不自由ナ所モ、私達トシテハ、
生産地ノ方ニ於キマシテモ十分辛抱シテ戴
イテ、出來ル限リ此ノ新馬政計畫ノ達成ニ
御協力ガ願ヘレバ、却テソレガ緩和ノ一ツ
ノ方策ニナルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ
居リマシテ、政府ト致シマシテハ出來得ル限
リ此ノ不便ヲ輕減シ、或ハ除却スルヤウニ
努メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、簡單
ニ申上ゲテ置キマス

○中村政府委員 第三問ニ付キマシテ、陸
軍ノ意向ヲ御尋ニナツタヤウデアリマスカ
ラ、簡單ニ御答致シマス、大體ニ於キマシ
テ、陸軍ト致シマシテハ農林當局ト密接ニ
連繫ヲ取リマシテ、只今御話ノ民間側ノ犧
牲ニ對シマシテハ成ベク之ヲ減少シ、五ニ
國家ノ重大時ニ處シテ、相扶ケ相勵シテヤ
リタイ積リデアリマス、從來官民ガ合同シ
マシテ非常ナ努力ヲ拂ツテ來タ此ノ輕乘馬
產地ニ對シマシテ、今回ノ國策ニ基キマス
ル計畫ニ依ツテ打撃ヲ與ヘルト云フコトハ、
洵ニ御同情スベキコトデモアリ、又忍ンデ
モ戴カナケレバナラス點デアリマスノデ、
軍ニ致シマシテハ慎重考慮シテ居ル所デア

リマス、殊ニ平時ニ於キマスル所ノ軍馬ノ
購買ノ如キモ、全ク此ノ趣旨ニ副フヤウニ、
馬政當局トモ十分打合セラ致シマシテ、本
大改良ニ伴ヒマス所ノ色々規格施設等ト
相並行致シマシテ、實施シタイ覺悟デアリ
マス、隨テ茲ニ急激ナル變動ガ來テ當業者
ニ非常ナ不便、不利ヲ來サシムルト云フヤ
ウナコトハ、深ク戒メテ居ル積リデゴザイ
マス、此ノ點特ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○泉委員 御答辯ハ何レモ抽象的デアリマ
シテ、私ノ憂ヘテ居ル所ニ具體的ニハ觸ル
ル所ガ少イノデアリマスガ、私ハ敢テ討議
ヲシヨウト云フノデアリマセスカラ、次
ノ質問ニ移ラウト思ヒマス、御伺シタイ第
二點ハ、馬ノ買上價格ノ引上、馬生産費ノ
引下、延イテ馬ヲ生産、育成スル農民ノ生
活安定ニ關スル問題ニ付テ、御伺シタイト
思フノデアリマス、馬ヲ高ク買上ゲテ呉レ、
是ハ軍馬ニ致シマシテモ、農林省ノ買上ノ
馬ニ致シマシテモ、サウ云フ要望ハ全馬産
家ノ痛切ナ要望デアルト私ハ思フノデア
リマス、馬ノ生産力ヲ維持増進スル爲ニハ、
百般ノ方針ハ立テラレマセウケレドモ、結
局馬ノ生産力ヲ擴充スルニハ高ク買上ゲル、
是ガ私ハ一番ダト思フノデアリマス、馬ノ

價格ガ生産費ヨリ數等高クテ、ソコニ若干
ノ利潤ト云フモノガアレバ、馬ハ生産サレ
ルデアリマセウ、馬ノ價格ガ生産費ニ滿タ
ナイデ、ソコニ損失ガ多ケレバ、ソレヲ單
ナル國家ニ對スル奉仕デアルトカ、馬ヲ愛
スルトカ云フ考ノミヲ以テシテ、生産サセ
ヨウト致シマス場合ニハ、ヤハリ生産力ハ
低下スルデアリマセウ、此ノ法則ハ、現在
ノ經濟制度ノ下ニ於キマシテハ、馬産農民
ト雖モ免レ難イ所ノ原則デアリマス、勿論
經濟ノ組織ガ變リマシテ、經濟ニ關スル
「イデオロギー」ガ全然違ツテ來レバ、問題
ハ別デアリマスガ、現在ノ經濟組織ノ下ニ
於テハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアラウト
私ハ思フノデアリマス、去ル本會議デ櫻内
農林大臣ハ、同僚遠山君ノ質問ニ答ヘテ「馬
ノ賣買價格ニ付キマシテハ、市場價格ヲ基
準ト致スノデアリマシテ、ソレニ依ツテ賣
買フスルコトト相成ルノデアリマス」斯ウ答
ヘテ居ラレルノデアリマス、併シナガラ市
場價格ナルモノハ、馬ノ生産費ニ相當ナ利
潤ヲ加ヘタ額デアルト云フ理由ニハ、少シ
モナラナイノデアリマス、馬ノ生産費以下
ニ於テモ市場價格ハ成立スルニ決ツテ居リ
マス、隨テ農相ノ市場價格ヲ基準トスルト
云フ觀念ハ、馬ヲ商品トシテ買フ、即チ其

ノ商行爲ノ商取引ヲ目的トスル商品ノ立
場ヲ代表スルモノデアリマスケレドモ、
馬ノ生産者ヲ代表シナケレバナラス農林大
臣ノ「イデオロギー」トシテハ、私ハ甚ダ之
ニ對シテ不滿ヲ感ズル一人デアリマス、私
ハ徒ニ農林大臣ノ片言隻句ヲ捉マヘテ、惡
意ノ論評ヲ加ヘル積リハナイノデアリマス
ガ、今ノ大臣ノ言葉ヲ反面解釋ヲ致シマス
レバ、馬ハ市場價格デ取引サレテ居ル、何
モ文句ハナイデハナイカ、或ハ軍馬ハ市場
價格ヨリモ若干高ク買上ゲテ居ルデハナイ
カ、何ノ不平ガアルカ、斯ウ云フコトニモ
ナルノデアリマス、勿論何時デモ馬ハ市場
價格デ取引サレテ居ルコトニハ相違ナイノ
デアリマシテ、問題ハ其ノ市場價格ガ果シ
テ馬ノ生産者ノ側ニ立ツテ、正シキ價格デ
アルカ否カニ存スルノデアリマス、馬ヲ高
ク買上ゲロト言フト、何ダカ斯ウ云フ時局
ニ馬ダケ高ク買ツテ呉レ、斯ウ云フ虫ノ良
イ考ヲ以テ農民ガ要求シテ居ルヤウニ、理
解ノ無イ人ハ思フカモ知レマセスガ、決シ
テサウデハナイ、私ハ元來産馬ヲ犠牲産業
ト呼ンデ居ルノデアリマスガ、其ノ意味ハ
馬ヲ生産スルト云フコトハ、利潤ヲ擧ゲヨ
ウト云フ目的ヲ持ツ經濟行爲デハナイ、國
ガ所要スル所ノ馬ヲ作り出ス爲ニ、經濟ヲ

犠牲ニシテ居ル所ノ産業ダト云フ意味デア
リマス、私達ノ生レタ所ハ、昔カラ南部駒
ノ產地デアリマシテ、私達ハ子供ノ時カラ
馬ト共ニ育ツタノデアリマス、吾々ノ方ノ
縣ノ農家ノ家ト云フモノハ、母屋ノ右手若
クハ左手ノ方ニ、鍵ノヤウニ曲ツテ造ラレ
テアルノガ既デアリマス、人ノ住ム家ト馬
ノ住ム家トガ軒ヲ連ネテ居リマス、中流以
上ノ家庭デアリマスレバ、其ノ間ニ空地ガ
アルノデアリマスルガ、下層農民ノ家ニナ
ルト、臺所カラ直グデアツテ、馬ガ朝起キ
ルト直グ臺所ヘ首ヲ出シテオ早ヨウト云フ
ヤウナ所ニ育ツタ、要スルニ東北ノ農民ハ
馬ト共ニ寝起キシテ生キテ居ルノデアリマ
ス、サウシテ其ノ南部駒ト云フモノハ在來
種即チ和種デアリマス、其ノ在來種ノ馬デ
アリマシタガ、ソレデモヤハリ鎧武者ヲ乗
セテ、戦争ガ出來タノデアリマス、ソレガ
明治ニナリマシテ兵制改革以來、軍ノ所用
スル馬トシテ斯ウ云フ在來種デハ不適當ダ
ト云フノデ、先ヅ私ノ村ナドニ「アラビヤ」馬
ナドガ輸入サレテ、村ニ種付所ト云フモノ
ガ出來テ、ソレカラ轉々トシテ、ソレ「アラ
ブ」ダ、ソレ「サラブレッド」ダ、ソレ「ノル
マン」ダト云フヤウナ工合デ、結局現在ノ
中間種ノ「アングロノルマン」若クハ其ノ系

統ノモノト云フヤウニ、變ツテ來テ居ルノ
デアリマス、現在ノ馬ヲ作り出スマデニ、先
輩ノ苦心ト云フモノハ全ク涙ナクシテハ之ヲ
見ルコトハ出來ナイノデアリマス、國ガ要
求スル馬ヲ作り出ス爲ニ、或ハ山ヲ賣ツタ
リ或ハ田ヲ抵當ニ入レタリシテ、優良牝馬ヲ
購入シタ、ドウモ在來ノ雜種デハ中々軍馬
ニ採レサウナ馬ガ出來ナイカラ、是ハ外國
產ダ、洋種ダトカ、ソレハハ洋雜種ダト
カ、是ハ鼻白ダカラ宜イ、足ガナンボ白イ
カラト云フヤウナ爲ニ馬ノ値段ニ高イ低イ
ガ出來マシテ、サウ云フモノヲ交換スルト
カ、買入レル、其ノ爲ニ殆ド先輩ノ馬產家
ト云フモノハ、皆破産シテ居ルノデアリマ
ス、良イ馬ヲ出サウトシタ者ハ皆破産シテ
シマツタ、私ハ子供心ニ言葉ハ少シ過ギル
ノデアリマスガ、馬產家ト云フモノハ政府
ノ煽テニ乗ツテ破産シテ居ルモノデアルト
云フ觀念ヲ、非常ニ強ク打込メタコトガ
アルノデアリマス、勿論其ノ時分私ハ子供
デアリマシテ、國家ノ爲ニサウ云フ風ニ馬
ヲ改良シテ行クコトガ、必要缺クベカラザ
ルモノデアルト云フコトニ付テ暗カツタノ
デアリマスカラ、致シ方ナイノデアリマス
ケレドモ、斯ウ云フ事實ヲ見セ付ケラレテ
來テ居ルノデアリマス、皆ガ破産シ家資分

散ニナツテ、今日ノ馬產地或ハ東北——東
北バカリデヤナイデセウ、九州ニモ何處
ニモサウ云フ所ガアルデセウ、サウ云フ風
ニシテ今日ノ馬產地ヲ築キ上ゲタノデアツ
テ、羅馬ハ決シテ一日デ成ツタノデハナイ
ノデアリマス、此ノ事實ハ皆國ノ犠牲デア
リマス、善ク言ヘバ國ノ獎勵ニ依ツテ、惡
ク言ヘバ國ノ煽テニ乗ツテ破産シテ行ツタ
ノデアリマス、農民ト云フ立場カラ言ヒマ
スルナラバ、馬ヨリハ牛ノ方ガ宜イカモ知レ
ナイ、又在來種デアツテモ一向差支ナイ、
農耕用ヤ駄馬用ヤ既肥ヲ取ルト云フダケナ
ラバ、何モ差支ナイ、又飼養頭數ニ致シマ
シテモ一戸一頭モ持ツテ居レバ、ソレデ十
分デアリマス、隨テ飼養管理ノ費用モ多キ
ヲ要シナイノデアリマス、然ルニ軍ノ所要
スル優良馬ヲ出スト云フノガ馬政ノ方針デ
アリ、之ニ從順ナノガ馬產家デアリマスカ
ラ、農耕用ナラ二戸一頭飼ツテ置ケバ宜イ
モノヲ、一戸五頭モ十頭モ飼ツテ見タリ、
種付カラ二歳駒ニ仕上ゲルマデニハ非常ナ
努力デアリマス、殊ニ採草放牧地トシテノ
牧野ヲ持タナイ地方ニ於キマシテハ、舍飼
ヲ致シテ居リマスカラ、其ノ飼養管理ハ並
大抵デハナイノデアリマス、殆ド成年ニ達
シタ男ノ勞働力ガ、一匹ノ馬ニ掛リ切ツテ

居ル、其ノ外ニ飼料ヤ衛生費、其ノ他ノ費
用ガ掛ツテ居リマスカラ、假ニ二歳ノ秋ニ
之ヲ馬市場ニ出シテ、幸ヒ軍馬ニ買上ゲラ
レタトシテモ、漸クソレハ生産費ニナツタ
カナラナイ程度ノモノデアアルノデアリマス、
勿論昨年、一昨年アタリハ、生産費ニハナ
ツタデアリマセウガ、生産費ニナラナカツ
タ年ガ、其ノ以前ニハ澤山アツタト私記憶
シテ居ルノデアリマス、所ガ生産サレタ馬
全部ガ、軍馬ニ買上ゲラレルモノデアリマ
スナラバ、是ハマダ宜イノデアリマスガ、
軍馬ニ要スル適格馬ト云フモノハ、サウ澤
山アルモノデハナク、又アツタト致シマシ
テモ、買上ゲスル數量ニハ限りノアルモノ
デアリマスカラ、軍馬ニ購買セラレナイモノ
ガ出來テ來ル、サウスルト軍馬以外ノモノハ
品質ハ必ズシモ劣等デハナイト致シマシテ
モ、市場價格ニ付テハ非常ナソコニ値開キ
ガ生ジテ參リマシテ、假ニ軍馬ガ二百圓デ
賣レタト致シマスレバ、ソレニ次グベキ馬
ガ百圓ニ賣レナイ、軍馬ガ百五十圓ニ賣レ
タトシテ、ソレニ次グベキ馬ガ百圓ニ賣レ
ナイ、是ガ馬市場ノ實情ナノデアリマス、
サウ云フ軍馬ニナリ得ナカツタ馬ガ、軍馬
一頭ニ付テ十頭モ二十頭モ出來テ來ル、併
シナガラ是等ノ馬ニシタ所デ、生産者ハ軍

馬ニ買上ゲラレルコトヲ目標トシテ飼養管理シテ來タノデアリマスカラ、生産費ハヤハリ軍馬ノ生産ト大差ハナイノデアリマス、隨テ二十頭ナリ十頭ナリカラ一頭選バレテ軍馬ノ御用ヲ承ツタシテ、其ノ馬ハ辛ウジテ生産費内外ノ所ニ値ガ付イタケレドモ、残りノ十頭ナリ二十頭ナリハ、生産費ヨリ何十圓モ損ヲシテ安ク手放サナケレバナナリ、是ガ馬産家ノ實情デアルト思ツテ居リマス、之ヲ譬ヘテ、一人ノ馬産家ガアリマシテ十頭ノ馬ヲ生産シテ、其ノ幼駒ヲ市場ニ出シタ、中一頭ハ軍馬トシテ生産費ニハ十分デアツタガ、残り九頭ハ何レモ軍馬ニ外レタガ爲ニ、一頭ニ付テ生産費ヨリ或ハ五十圓ナリ百圓ナリノ損ヲシタトスルナラバ、サウシテソレガ何年カ續イタトスルウコトハ、明カナ話デアリマス、是ハ一人ノ馬産家ガ十頭モ出シタ話デアリマスガ、之ヲ大キク一ツノ馬産地農村トシテ見マシテモ、又全日本ノ馬産家ヲ一ツノ綜合體トシテ見マシテモ、理窟ハ同ジデアリマス、斯ウシテ馬産地ハ潰レテ行クデアリマセウ、是デハ他ニ如何ヤウナ馬産奨勵策ヲ講ジマシテモ駄目デアル、馬資源ノ生産擴充モ、保有量ノ維持モ、達成致シマセヌ、吾々ガ

何故ニ軍馬ヲ高ク買上ゲテ貰ハナクテハナラヌト言フカ、其ノ理由ハ茲ニアルノデアリマス、此ノ理由ハ御分リニナルデアリマセウ、馬ハ詰リ兵器デアアル、馬ヲ兵器ト致シマシテ、兵器ヲ假ニ外國カラ輸入スル場合、誰ダツテ生産費以下ニ賣ツテ呉レル所ハナイノデアリマス、又陸軍ナラ陸軍ガ兵器ヲ御自分デ造ルト致シマシテモ、無論大砲ヤ何カニハ刎ネモノハ出來ナイデアリマセウガ、刎ネモノガ出來ルト致シマシテモ、其ノ刎ネモノノ原料ヤ工賃ハ、見ナイト云フ譯ニハ參ラスデアリマセウ、軍馬ヲ高ク買上ゲルコトニ依ツテ、一般市場ノ馬ノ價格ヲ生産費ニ相當ナル利潤ヲ加ヘタモノニ引上ゲ、サウシテ其ノ價格ヲ維持スルト云フコトコソ、馬産政策上緊要缺クベカラザルモノデアルト私ハ考ヘル、此ノ理由ヲ御認メニナリマスルカドウカ、御認メ下サレバ私ノ此ノ點ニ關スル質問ハ半バ達シマス、若シ御理解ガ願ヘナケレバ、折角ノ私ノ質問モ馬ノ耳ニ念佛ニ了ルノデアリマス、之ニ對スル農林當局ナリ陸軍當局ナリノ御決心ハ如何デアルカ、此ノ點モ御聽キシテ置キマス

○荷見政府委員 只今馬ノ價格ノ引上ニ付テ御話ガゴザイマシタ、馬ノ價格ヲ引上ゲマスコトハ、其ノ生産ヲ刺戟スルコトニ依ツテ生産力ヲ擴充スルコトニナルノダト云フコトハ、私モ御話ノ通りニ考ヘテ居ルノデアリマス、現在ノ狀況カラ致シマスレバ、馬ノ資源ハ益々多キヲ可トスル狀態デアリマスガ、生産力擴充ノ必要ナルコトハ勿論、隨テ御話ノヤウナ點モ、十分吾々トシテモ考ヘテ參ラナケレバナラスト云フコトハ御同感デアリマス、併シナガラ他ノ馬ノ利用ノ方面モ考ヘマスレバ、此ノ馬ノ價格ガ非常ナル騰貴ヲ致シマス、利用者ノ方ガ非常ニ困難ニナツテ參リマシテ、隨テ其ノ消化ノ方ニ若干差支ヲ生ジテ來ル虞ガナイトモ申セマセヌカラ、十分研究ヲシナケレバナラスト思フノデアリマス、殊ニ馬ノ資源ハ先程モ御話ノヤウニ、段々減少シテ參ツテ居ルノデアリマスシ、農村勞力等ノ關係ノコトモ考ヘナケレバナリマセヌノデ、是等ノ圓滑ナル調整ヲ期シマシテ、生産者ニモ利用者ニモ、兩方面共經濟上不都合ノナイヤウニ致シマスルコトハ、極メテ重要デアルト考ヘテ居リマス、併シソレハ單ナル價格ノ問題ダケノ研究デハ、十分ヲ期シ得ナイト考ヘテ居リマスノデ、馬ノ價格ノ調整ヲ期シマス爲ニハ、馬ノ取引或ハ配給機構等ノ關係ニモ、至急ニ十分ナル檢討ヲ加ヘ

テ、必要ナル改善ヲ若シモ要スルナラバ、至急ニ實行シナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ只今モ御話ノヤウニ、馬ノ買上ニ關與致シマス陸軍當局ナリ、或ハ馬政當局ナリ、ソレ等ノ關係者ガ集マリマシテ、至急ニソレ等ノコトヲ研究致シタイ積リカラ、昨年ノ暮ニ馬ノ取引改善協議會ヲ農林省內ニ設ケマシテ、陸軍ノ關係ノ方々ニモ、農林省內部ノ馬政ニ關スル方ニモ御協力ヲ願ツテ、折角研究ヲ進メテ居ルノデアリマス、尙ホ只今御話ガアリマシタ軍馬ノ購買洩レニナリマシタ馬ガ、非常ニ不利益ニナルト云フヤウナコトハ、是モ考ヘナケレバナラストコトデアアルコトハ、申上ゲルマデモナイト考ヘマスケレドモ、今回制定致シマス軍用保護馬ノ制度ガ成立致シマスレバ、相當多數ノ軍用ニ適スル馬ガ、國家ノ特別保護ヲ受ケルト云フコトニナリマスノデ、ソレ等ノ關係ヲ餘程緩和スルコトニナルト信ジテ居リマス外ニ、又滿洲等ニ移植スル爲ニモ、相當數ノ馬ガ民間カラ買上ゲラレルコトニナルト思ヒマスノデ、此ノ新馬政計畫ニ伴フ豫算ナリ法律案ナリノ、十四年度以後ノ計畫ヲ實行致シマスレバ、御話ノヤウナ點モ、相當改善セラレテ行クモノデハナイカト考ヘルノデアリ

マス、尙ホ馬ノ買上價格ニ付キマシテ、生産費及ビ其ノ中ニ含ムベキ利潤ト云フヤウナモノヲ加ヘテ價格ヲ以テ、買フベキモノデアツテ、市場ノ自由ナ價格ニ放任スベキモノデナイト云フ御趣旨ノ御話ノヤウニ、私同ツタノデアリマスガ、何カ思違ヒガアレバ訂正致シマスガ、成程取引ノ關係ト云フ風ナコトヲ律シテ參リマスニハ、價格ノ標準ト云フヤウナコトモ、十分考ヘテ行カナケレバイカヌコトト考ヘテ居リマスノデ、御話ノ馬ノ價格ノ基準ト云フヤウナモノヲ考ヘロト云フ御趣旨ニ付キマシテハ、私共モ出來得ル限り研究致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○中村政府委員 陸軍カラモ一言申上ゲマス、軍馬ノ購買價格ト云フコトニ付キマシテハ、只今御指摘ノ通り馬産ノ保護ニ非常ナ重大ナ影響ヲ持ツモノデアリマスカラ、陸軍當局ト致シマシテハ此ノ點ニ付キマシテ比年研究ヲシ、馬産保護獎勵ノ目的ニ齟齬ナカラヌコトヲ期シテ來タノデアリマス、サレバニヤ只今御指摘ノ通り、軍ノ買上價格ハ生産費モ合シテ宜シイト云フヤウナ風ニモ伺ツタノデアリマスガ、左様ニ軍トシテハ十分注意ヲシテ居リマス、如何セン最近ノ暴騰ハ、豫算ノ範圍外ニモ出テ居ル

ノデアリマスガ、將來此ノ購買價格ト云フコトガ馬産ニ影響スルコトノ大ナルニ鑑ミマシテ、相當價格ノ増額モ今計畫ヲシテ居ル次第デアリマス、唯軍ノ買上ゲルノハ僅ナ數デアリマスカラ、其勿ネラレタ馬ガ非常ニ又物ヲ言フト云フ御話デアリ、又事實ソレガ物ヲ言フトハ當然ナコトデアリマス、ソレヲ十分ニ算盤ノ立ツヤウニシテ上ゲナケレバ、即チ國家カラ見デモ大キナ馬産ニハナラズ、又軍ノ要望スル所ノ方針モ貫徹ヲシナイノデアリマスカラ、決シテ軍ハ今申上ゲタヤウナコトデ安心ヲシテ居ル次第デアリマセヌ、農林當局ト密接ニ相寄り研究ヲ致シマシテ、大局的ナ見地カラ見テ、馬産者ノ福利モ増進ヲセネバナラスト云フコトニ付テ、考慮シテ居ル次第デアリマス

○泉委員 大シタコトデモアリマセヌケレドモ、私ガ市場價格ト言フノハ、市場價格必ズシモ常ニ公平ナラズ、市場價格ガ必ズシモ生産費ニ準據シテ定メラレルモノデナイト云フコトデアリマス、豫算ヤ何カノ關係デ高ク買ヘナイト云フヤウナコトモ能ク聞クコトデアリマスケレドモ、馬ハ一ツノ兵器デアリマスカラ、要スルニ兵器トシテ必要ナモノデアレバ、豫算ノ都合ナンカハ、

アナタ方デドウニデモナリサウナモノデ、私共此ノ議會ニ別ニ反對シタコトモアリマセヌカラ、如何様ニモ出來ルヤウニ思フノデアリマス、サウシテ又サウ云フ金ハ、政府ニ出セド云フノデハナクシテ、結局ソレハ税金ナリ公債ナリ、國民ノ負擔ニ於テ出ルノデアリマスカラ、吾々ガ出シタモノヲ公平ニ吾々ノ方ヘ還元シテ欲シイ、他ノ軍需産業デハエライ儲ケテ居ル者モアリマサガ、サウ云フ方カラ税金ガ出デ自然增收ニナルノデアリマス、今度ハ馬ト云フ軍需産業デハ、一ツモ儲ケテ居リマセヌカラ、サウ云フ方ヘモ公平ニ還元シテ欲シイ、又サウ云フ風ニ公平ニ取立テテ、公平ニ還元スルコトコソガ、政治ノ妙諦デモアリ、アナタ方ガ爲サナケレバナラナイ仕事デアルト思フノデアリマス、此ノ點ハ質問デハアリマセヌガ、要望ヲシテ置キマス、ソレカラ馬ノ値段ガ高イト言ヒマシテモ、一方的ニ馬ダケガ切離サレテ考ヘラルベキモノデハナイノデアリマシテ、私ノ馬ノ値段ヲ高クト云フノハ、生産費ニ合致スルト云フコト、同時ニ他ノ物價トノ比較ニ於テ言フノデアリマス、他ノ物價トノ關係ニ於テ、生産費ヲ見デ高イ、斯ウ云フノデアリマス、生産費ガ引下ゲラレルト云フコトニナリマスレ

バ、又隨テソレニ準ジテノ馬ノ値段ト云フモノハ、出テ來ルデアラウト思フノデアリマス、根本的ニハ馬ノ生産家達ノ生活ノ安定ト云フ問題ガ、相當基本の問題トシテ考慮サレルノデアリマシテ、此ノ點ニ關スル所ノ馬ノ生産家ノ生活ガ安定シナケレバ、馬ノ値段ガドウナリマセウトモ結局ハドウモナラヌト思ヒマス、其ノ點特ニ御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ツテ居ルノデアリマス、次ニ今度ハ他ノ問題ニ移リタイト思ヒマスガ、是ハ本會議デモ屢、同僚諸君カラ尋ネラレタノデアリマスガ、馬ノ生産費ヲ低下スル一ツノ原因トモナリ、又所謂肢勢正良、關節堅牢、蹄質堅靱ナル馬ヲ作り出ス爲ニハ、ドウシテモ牧野ト云フモノヲ持タナケレバイカヌノデアリマス、馬ノ生産地ト致シマシテハ、北海道ハ若干惠マレテ居リマスルガ、東北、九州其ノ他ハ之ニ惠マレテ居リマセヌ、ドウシテモ舍飼ヲ致シマスレバ最前モ言ツタ通り、一頭ノ馬ニ一人ノ成人ノ勞働力ヲ費サナクテハナラヌ、朝ハ馬ノ飼料ヲ刈取ル爲ニ出掛ケテ行ツテ、所ニ依リマスレバ半日モ掛ツテ歸ツテ來ル、タハリマスノデ、之ヲ出シテ川ヘ持ツテ行ツテ洗フトカ、或ハ運動ヲサセナクテハナラヌ

ト云フヤウナ工合デ、非常ニ生産費ガ掛カル、良質ノ馬ヲ出スト云フ爲ニハ、ドウシテモ牧野ト云フモノガナケレバナラス、所ガ牧野ト云フモノハ、現在ノ農林省ノヤツテ居リマス所ノ山林政策、森林政策トハ殆ド對蹠的ナ關係ニ立ツテ、牧野ノ問題ガイデメラレテ居ル、斯ウ見テ宜イノデアリマス、殊ニ——又東北ノ話ニナルヤウデイケマセヌガ、東北ハ馬ノ產地デモアリ、國有林ガアルノデアリマスカラ、引例トナルノモ仕方ガナイノデアリマスガ、林野ヲ見マスルノニ、御料林ト云フノガ全國ノ總計ガ百三十八万町歩、内岩手、青森、福島、此ノタツタ三縣デ七十七万三千町歩、全國ノ御料林ノ約半分ト云フモノヲタツタ三ツノ縣ガ持ツテ居ル、國有林ハ全國デ七百七十一万町歩デアリマスガ、内東北六縣ガ二百二十二万町歩、全國ノ約三割ト云フモノヲ東北六縣ダケ持ツテ居ル、反對ニ私有林野、是ハ全國ガ千四十九万餘町歩デアリマスガ、東北ハ百四十九万餘町歩、是ハ一割四分シカ持ツテ居ラス、サウスルト林野ニ於キマシテ東北ハ全國デモアル方デアル、而モソレガ國有林野、御料林デアツテ、私有地ト云フモノハ洵ニ少イ、ドウシテソナニ東北ハ出來タカト云フト、曾

テ林野ハ皆東北ダツテ私有地ニナツテ居ツタノデアリマスガ、山林ニモ山林稅ヤ原野稅カ課カルヤウニナリマシテカラ、サウ稅金ガ山ニマデ課カツテ來テハ仕樣ガナイト云フノデ、稅金ヲ納メナイヤウニシヨウトシマシテ、此處マデハ國有林ダト言ハレルト、ア、サウデスカト云フコトデ、自分ノ山デモ只國ニ取ラレシマツタノデアリマス、言分ハ少シヲカシイカ知レマセヌケレドモ、實際ハサウデ、現在ニ於テハ國有林ニナツテシマツテ居ルノデアリマシテ、現在ハ草ヲ一ツ刈ルニ致シマシテモ、營林署ノ御諒解ヲ得ナケレバ、鎌ハ入レラレナイト云フノデ非常ニ困ツテ居ル、而モ國有林ノ收益ヲ見マス、全國ノ國有林ノ收益ト云フモノハ六百五万二千餘圓、東北ハ三百八十三万六千圓、詰リ國有林野ノ收益ノ點カラ見レバ六三%ト云フモノヲ東北ガ舉ゲテ居ル、斯ウ云フ風ニシテ東北ニ於ケル國有林野ノ地位ト云フモノハ大キイモノガアル、ダカラ私ハ此處ノ中ニ少クトモ公共團體ナリ、或ハ產馬畜產組合ト云ツタヤウナ團體ナリ、或ハ私人ナリニ開放シテ、馬ヲ生産スル爲ノ採草放牧地トナスベキ餘地ガ十分ニアリ、農林大臣ハ所謂森林政策ニ支障ナキ限リト言ヒマシタガ、支障ナクサウ云フコトハヤ

リ得ル餘地ガ、マダ——十分アルヤウニ思ヒマス、同時ニ其ノ開放ガ出來ナイトスルナラバ、國其ノモノガ國有林野ノ中ニ諸所ニ適當ナル放牧採草地ヲ設ケテ、之ヲ又馬產家ニ利用サセル方法ヲ探ツテモ宜イガラウト思フノデアリマス、兎ニ角トシテ現在此ノ放牧採草地トシテノ牧野ヲ、モウ少シ國ガ力ヲ入レテヤツテ貰ハナケレバ、ドウシテモ蹄質強靱、關節堅牢ナル馬ト云フモノハ出テ來ナイ、之ニ對シテノ農林大臣カラノ御話モ承リマシタケレドモ、農林大臣ノ御話ハ理想論ヤ抽象論デアリマシテ、洵ニ修身書ミタイナモノデアリマシテ、吾々ドウモ實際ニハ甚ダシク迂遠ニ聞エルノデアリマスカラ、具體的ニ何カ御考ガアツタラ、一ツ承リタイノデアリマス

○荷見政府委員 馬ノ生産費低下、或ハ健全ナル馬ヲ作ル爲ニ牧野ガ極メテ必要ダト云フコトハ、御話ノ通りデアリマス、是ハ本會議ニ於キマシテモ農林大臣カラモ申シマシタヤウニ、政府ト致シマシテモ今回ノ馬政計畫遂行上、牧野ノ改善ト云フ風ナコトガ極メテ必要デアルト認メマシテ、前年度ニ較ベテ六十萬圓バカリノ豫算ヲ増加致シマシテ、百三十八萬圓バカリニ増額致シマシテ、之ニ依ツテ差當リ出來ル限リ、牧野ノ整備ヲ致シテ參ラウ、尙ホ御話ノヤウニ國有林野等ニ付キマシテモ、研究ヲ致シマスレバ相當之ヲ開放シ得ルヤウナ所モアルノデハナイカト云フ風ナ考モ致シテ居リマスシ、又現在ノ牧野ニ致シマシテモ荒廢致シテ居ルヤウナ所ハ、或ハ適當ニ之ヲ整備スルト云フ風ナ方法モ必要デアラウト思フノデアリマシテ、是等ノコトヲ山林當局等トモ能ク協議ヲ致シタイ見込デ、今度初メテ省内ニ牧野整備ノ審議會ナルモノヲ設ケマシテ、熱心ニ研究ヲ始メテ居ル次第デアリマス、牧野ノ改良トカ開放トカ云フ風ナ問題ニ付キマシテモ、色々御話ハ伺フノデアリマスガ、大體私共普段御話ヲ色々伺ツテ居ル部面ニ於キマシテハ、地方々々デ具體的ニ此處ガドウト云フヤウナ問題ハ、サウ澤山出テ來マセヌデ、抽象的ノ御話ガ可ナリ多イノデアリマス、ソレデハ中々今御話ノヤウニ、山林局トノ關係モアツテ進行シナイノデアリマスカラ、私ノ方ト致シマシテハ審議會ナドヲ作りマシテ、山林局ト共同調査デ何處ガドウ出來ルカト云フコトモ、研究シテ行キタイト云フ考ヲ以チマシテ、ソレ等ノ共同調査ニ關スル經費モ、今回ノ豫算ノ中ニハ一部分計上致シタ次第デアリマス、ソレ等ニ依リマシテ政府ト致

シマシテハ、出來ル限り只今御話ノ牧野整備ノ方面ニ付テモ改善ノ域ニ進ミタイ、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、ソコハ御諒承置ヲ願ヒタイと思ヒマス

○服部(英)委員 關聯シタコトデ一寸御許シヲ願ヒタイと思ヒマス

○東委員長 宜シウゴザイマス

○服部(英)委員 馬ヲ軍馬ニ買上ノ價格ノ問題、及び生産費ニ付テノ御質問ガアリマシテ承ツテ居リマシタガ、只今陸軍當局カラノ御説明モアリマシタヤウニ、買上ニ付テハ豫算ノ制限モアリマスルカラ御尤デアリマス、又生産者カラ言ヘバ、市價必ズシモ生産費ヲ充タシテ居ルモノトハ限ツテ居ナイノダカラト云フ、是モ亦御尤デアリマス、就キマシテハ成ベク馬ノ生産費ヲ低クスルト云フコトモ、是亦必要ナ條件デアリマスガ、其ノ生産費ヲ低クセンガ爲ニハ、馬ヲ飼養スルニ要スル飼料、例ヘバ麥、豆、草ナドニ付テ、將來政府ハ統制ヲ行フ意思ハナイカ、馬ノ價格ヲ引下ゲテ、而モ生産者ヲシテ損失ヲ蒙ラナイヤウニセシムルニハ、生産費ヲ低カラシムルト云フコトガ、前提ノ條件デナクテハナラス、ソレニ付テハ生産ニ要スル馬ノ飼料ト云フモノニ付テモ、將來統制ヲ爲サル御考ガアルカドウカ、之ヲ

他ノ例デ申シマスルト、卵ヤ鶏肉ノ統制ハ圖ツタガ、鶏ノ飼養スル所ノ飼料——食物ノ統制ヲ行ハナイガ爲ニ、今日デハ生産費ノ方ガ卵ヨリ生ズル所ノ收益ヨリモ、グント高クナツテ居ル、斯様ナル統制ハ甚ダ宜シクナイト云フ聲ガ、民間ニ起ツテ居リ、今日政府ノ統制ニ對スル攻撃ニナツテ居ルノデアリマス、馬モ亦生産費ヲ低カラシメテ、生産ヲ盛ナラシムルガ爲ニハ、ソレト最モ關係ノ深い飼料ニ付テ、政府ハ何カ御考ガアルカドウカ、統制ニ付テ御考ハアリマセヌカ、只今ノ牧場ヲ改良スルコトモ、一ツノ必要ナル方法デアリマセウ、或ハ飼養料ヲ政府カラ給付スルトカ、其ノ飼養スル食物ヲ給付スルトカ云フヤウナ方法ニ付テ、御考ハゴザイマセヌノデアリマス

○荷見政府委員 馬ノ生産費ノ低下ニ付キマシテハ、是ハ或ハ種馬ノ供給ニ付テ、政府ノ方デ資金ヲ出ス——今度種牡馬ノ國有ト云フヤウナモノモ、餘程負擔ヲ輕減スル積リデアリマス、又軍用保護馬デアルトカ、或ハ種牡馬ト云フヤウナモノニ對スル飼養料ノ助成ト云フヤウナコトモ、豫算ニ計上シテ居リマス、是モ生産費ノ低下ノ一方面デアルト思ヒマス、只今御話ノ牧野ノ整備ノ如キモ、ヤハリ一面ニ於キマシテハ生産費低下ノ一ツノ方法デアリマス、其ノ他ノ物資ニ付キマシテ、馬ノ生産費ヲ低下セシムル爲ニ、統制ヲ行フヤ否ヤト云フ問題ニ付キマシテハ、マダ御返事ヲ申上ダル程ニ研究ハ私トシテ致シテ居リマセヌガ、必要ガアリマスレバ、或ハソコマデモ進メナケレバナラスモノカトモ思ヒマスケレドモ、ソレヲスルトカセヌトカ云フ御話ヲ、申上ダル程ニ達シテ居リマセヌ

○泉委員 モウ一點伺ツテ置キタイノデアリマスガ、ソレハ大陸ニ對スル馬政計畫デアリマス、主トシテ滿洲ニ對スル馬政計畫デアリマスガ、滿洲ニ對スル馬政計畫ト云フモノモ、滿洲政府當局ト日本政府トガ連繫ヲ保ツテ、要スルニ日本ガ指導ノ立場ニ立ツテヤツテ行カレルデアリマセウガ、滿洲ニ馬政計畫ガ實施セラレタト致シマスレバ——勿論現在滿洲ノ馬ハ非常ニ體格ガ小サイノデアリマスシ、内地ノ馬ニ比較シテ劣ツテ居リマスコトハ勿論デアリマスガ、併シ一概ニハ申セマセヌ、興安嶺ヲ越エテ參リマスレバ、是亦巨大ナル馬ガ居ルノデアリマス、大體ニ於テ滿洲ノ馬ハ小格軀馬用トシテ生産サレルダラウト思ヒマス、ソレニ對シテ日本カラ更ニ優良ナル種馬並ニ種牝馬ト云フモノガ輸出サレテ行クカラ、當

分ノ中ハ必ズシモ内地ノ馬產ヲ脅カスヤウナコトハナイデアリマセウガ、滿洲ニ於テハ或ル地方デハ何百頭、何千頭ト云フ馬ヲ一戸デ以テ放牧デ飼ツテ居ルノデアリマス、又奥地ノ興安嶺以西ニ參リマスレバ、モウ一人デ何万頭ト云ツタ馬ヲ、遊牧シテ居ルノデアリマス、アノ地方ハ馬ガ大キイノデアリマスカラ、必ズシモ直チニ日本ノ現在要求スル馬デアアルカドウカハ、別問題デアルト致シマシテ、現在ハ大シテ差支ナイト致シマシテモ、將來ニ於キマシテ非常ニ低廉ナル馬ガ出テ來ル、サウスルト是ハ軍ノ所要ヲ充タスバカリデハナク、先進内地ノ馬產地ヲ脅カスガ如キコトガ、將來起ツテ來ヤシナイカ、寧ロ私ハ斯ウ云フコトヲ心配スルノデアリマス、滿洲邊リニハ鼻疽ノヤウナ惡イ病氣ガアリマシテ、簡單ニ直チニサウ行クカドウカト云フ見透シハ、持ツテ居マセスケレドモ、大體常識論トシテサウ思ツテ居ル、隨テ滿洲ニ對スル馬政計畫ニ付テモ、軍ノ所要スル馬ノ規格バカリデナク、數量ヤ何カニ付テモ内地トノ將來ノ見透シヲ付ケテ、サウシテ完全ナル計畫ヲ立テ行カケレバ、將來非常ナコトガ出來ヤセヌカ、私ハ斯ウ思フノデアリマスガ、ソレ等ニ對シテ何カ特別ナ御

研究ガサレテ居リマスガ、當局ノ御考ヲ承リタイ

○荷見政府委員 ソレハ今般御手許ニ差上ゲマシタ内地馬政計畫提要ノ中ニモ出テ居リマスガ、日滿ニ互ル馬政國策ヲ、昨年ノ夏閣議ニ於テ決定致シタノデゴザイマス、ソレニ依ツテ内地及ビ滿洲ニ於キマシテノ馬ノ生産ニ關スル調整、竝ニ分布ニ關スル調整ノ方針ヲ、明確ニ決定致シテ居リマス、關係者ニ於キマシテ此ノ方針ハ的確ニ守ツテ行ク積リニナツテ居リマスノデ、隨テ只今御話ノヤウナ點ノ御心配ハ、殆ドナイモノデハナイカト思ツテ居リマス、滿洲ノ關係ニ付キマシテハ陸軍ノ方カラ御話ヲ願フコトニ致シマス

○中村政府委員 只今滿洲ノ馬ヲ非常ニ澤山——莫大ニ居ルヤウニ御考ニナツテオ居デニナルヤウニモ伺ツタノスデアリマスガ數ニ於テハサウ澤山ノモノデナクテ、色々ノ病氣ヤ癘疾其ノ他ノモノヲ除イテ、現在軍用ニ供シ得ル數ト云フモノハ、案外少イノデアリマス、數万頭ト言ツテ宜シカラウカト思ヒマス、隨テ斯ノ如キ數ニアリ、又其ノ質ガ御承知ノ通りノ質デアリマスカラ、成程氣候風土ニモ慣レ、飼料モ簡單デ、手取早ク使フニハ便利ノヤウデアリマスガ、

今日ノ能力ヲ以テシテハ、軍ノ要望ニハ中達シナイノデアリマス、故ニ滿洲ノ馬產計畫ガ逐次進行シテ行キマシテモ、其ノ質ニ於テ、其ノ數ニ於テ、我ガ國內ノ馬產ヲ脅カスコトガナイト論斷シテ居ルコトハ、農林當局ノ御辯明ト一致シテ居リマス

○泉委員 大體御説明ヲ戴キマシタガ、私ノ伺セマシタ各點ニ付テハ、満足ヲ得ル部分モアリ、或ハ不十分ニ思フ點モアリマシタ、要スルニ私ノ質問シテ居ルコトハ、馬產地ヲ代表シテ言ツテ居ル積リデアリマスカラ、將來政府ノ馬政計畫ニ付テノ馬產地ノ要望トシテ御聽キ取リヲ願フテ置キタイノデアリマス、ソレカラ馬ノ鍛鍊ニ付テ、馬ノ衛生對策ニ付テ御聽キシタカツタノデアリマスガ、是ハ後ノ機會ニ讓リマス、殊ニ私ハ競馬ニ關シマシテハ、他ノ人トハ全然異ツタ一ツノ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスケレドモ、今ハ之ヲ申述べマセヌ、馬ノ豫算ニ付テ御聽キショウト思ツテ、折角私ハ調査シタノデアリマスガ、今朝家ヲ出ル時、其ノ重要ナル資料ヲ皆忘レテ置イテ來マシタカラ、後デ若シ再ビ私ニ質問ヲ許サレル機會ガアリマシタラ御聽キスルコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ是デ打切ツテ置キマス

○東委員長 分リマシタ——少シ早イガ、オ晝ニ致シマスガ

○大石委員 議事進行ニ付テ——本日ハ本會議ニ於テ競馬ニ關スル法律案ガ上程セラレマスカラ、午前中デ委員會ヲ打切ツテ戴キタイ、明日ハ午後一時半ヨリ開會スルヤウニシテ戴キタイ、尙ホ本日ハマダ時間ガアリマスカラ、モウ一人位御許シヲ願フテ、成ベク簡潔ニ一ツ……

○東委員長 ソレデハ服部君

○服部(笑)委員 私ノ質問ノ範圍ハ色々デアリマスガ、先ヅ衛生ニ付テノ方面ヲ御尋致シマス、馬ノ、殊ニ軍馬ノ必要ヲ感ジテ本案ヲ御提出ニナリマシタ理由ハ能ク分リマシタ、之ニ付テ如何ニシタナラバ、良イ馬ヲ安ク且ツ短期間ニ產出セシムルカト云フコトガ、其ノ目標デアアルコトハ言フマデモナイ、ソレニ付テ細マ——ト規定ガアルノデアリマスガ、消極的ナ馬ノ衛生ノ方面ニ付テノコトハ、餘リ多ク規定ガナイヤウニ拜見致シマシタ、積極的ニ馬ヲ増産スルコト云フコトヲ考ヘルコトハ、勿論必要デアリマスガ、出來上ツタ馬ノ健康體ヲ維持シテ、有用ニ利用スルコトモ亦、閑却スベカラザル事由ト考ヘマスカラ、ドウシテモ馬ノ發達ヲ期スル爲ニハ、衛生ノ

方面、謂ハバ馬ニ關スル獸醫師ノ必要ナコトハ、申スマデモナイコトデアアル、現在ノ獸醫師ノ數ト、將來増産ヲ計畫シテ居ル此ノ法案トヲ睨ミ合セテ見マス、現在ニ於テハ、獸醫師ノ數ガ割合ニ少イト云フ感ジヲ持ツノデアリマスカラ、將來ハ優秀ナル獸醫師ヲ養成スルコトガ、最モ急務デアラウト思ヒマス、ソレニ付テハ本會議ニ於テモ御説明ガアリマシテ、本年鹿兒島、鳥取ニ於ケル高等農林學校内ニ、新ニ獸醫科ヲ新設シマシテ、九十餘名ノ獸醫卒業生ヲ養成スルト云フ目論見ノコトモ拜聽致シマシタ、此ノ際現在存在シテ居ル獸醫學校ヲ擴充スルコトニ付テ、何カ必要ナル補助金デモ出スト云フ御考ハアリマセヌカ、又現在設ケラレテ居ル獸醫學校ニ於テ、教室ノ大キサニ依ツテ學生養成ノ數ガ制限セラレテ居リマスガ、此ノ場合デアリマスカラ、其ノ制限ヲ緩和シテ、一教室ニ收容スル生徒ノ數ハ若干増加シテモ、ソレハ默認スルカ或ハ認メルカ云フ御考ヲ以テ、此ノ際優秀ナル獸醫學生ヲ頗ニ多ク増加スルヤウナ御考ハアリマセヌカ、第三ニ、民間ニ於テハ相當獸醫ノ學生ヲ養成ニ、努力致シテ居ルノデアリマスガ、獸醫師大學ト云フモノヲ建設スルニ付テ、國ノ大學ヲ建設スルニ

付テノ御考ハ、本會議ニ於テ承知致シマシ
タガ、民間ニ於テモ將來左様ナル計畫ヲ樹
テテ居ル者ガアルトスレバ、ソレ等ニ對シ
テノ出願ニ對シテ、之ヲ認可スルノ御意思
ガゴザイマスカ、是ハ文部省ノ範圍ニ屬ス
ル點モアルカモ存ジマセヌガ、先ヅ此ノ三
ツノ點ヲ一ツ御伺致シマス

○岸政府委員 御尋ノ點ハ馬其ノ他ノ畜産
ノ獎勵ニ伴ツテ、其ノ衛生施設ヲ完備シテ
行クニハ獸醫ノ養成ヲヤラナケレバイケナ
イデハナイカ、又之ニ對シテ特別ニ補助金
等ヲ交付シテ、其ノ仕事ヲ促進シテ行クコ
トハ考ヘテ居ラナイカ、今一ツハ民間ノ獸
醫ノ大學等ニ付テ設立ヲ希望スル者ガアル
ガ、之ニ對シテ特別ノ援助ヲ考ヘテ居ルカ、
斯ウ云フヤウナ點ダツタラウト考ヘテ居リ
マス、獸醫ノ養成ニ付キマシテハ、御手許
ニ資料モ差上ゲテアルト思ヒマスガ、現在
アリマスノハ官立ノ大學ニ校、ソレカラ官
立ノ專門學校五校、私立ノ專門學校三校、
其ノ他ニ中等程度ノ學校ガ十六アル譯デア
リマス、此ノ中獸醫師法ガ出來マシタ時ニ、
十二年ノ猶豫期間ヲ置キマシテ、其ノ間ニ
整理ヲシテ、本年ノ三月ヲ以テ終末ヲ告ゲル
譯デアリマス、是等ヲ見マシタコトハ、結
局最近ニ於ケル所ノ畜産及ビ獸醫ノ學問ノ

進步ニ伴ヒマシテ、ヨリ高イ所ノ素養ノア
ル者デナケレバ、完璧ヲ期スルコトガ出來
ナイト云フ考ノ下ニ、當時ソレダケノ猶豫
期間ヲ以テ、其ノ準備ヲ整ヘテ參ツタノデ
アリマスガ、此ノ點ハ現在ノ時局ニ際シテ
モ、聊カモ間違ヒガナイコトデアリマス、
又最近戰地其ノ他カラノ御話ヲ承リマシテ
モ、ヨリ一層シツカリシタ素養ノアル者ガ
ヤラナケレバ、イカヌト云フコトヲ聞イテ
居リマスノデ、其ノ點ハ間違ヒガナイコト
デアラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ
其ノ方向ニ沿ウテ養成ヲヤルト云フコトハ
必要デアリマシテ、之ガ爲ニ今年ノ三月ヲ
以テ廢止ニナル中等學校ニ對抗シマシテ、
或ハ從來ノ官立學校ノ收容人員ヲ増加サセ
タリ、或ハ今マデ獸醫科ノナイ鳥取鹿兒島
等ニ、獸醫科ヲ設ケルヤウニナツタリ、更
ニ色々各地方ニ於テモ計畫ガアルヤウニ聞
イテ居リマス、又公立學校ノ中ニ於キマシ
テモ、第二部ヲ設立致シマシテ、其處デ獸
醫師法ニ依ル新シイ資格ヲ取ル爲ニ、二箇
年バカリノ養成ヲヤラウト云フ施設ヲヤツ
テ居リマシテ、ソレガ此處ニ掲ゲテアリマ
ス五ツノ外ニ、更ニ最近ニ於テ一ツ位殖エ
テ居ルト思ツテ居リマス、將來ノ見透シカ
ラ言ヒマスレバ、十四年度ニ於キマシテハ

相當多數ノ技術員ノ需要ガアリマス、概算
八百九十幾人ト云フコトニナツテ居リマス
ガ、ソレニ對シテ卒業生ハ今年度ニ於テハ
千七十九名程ノ豫想ヲシテ居リマス、隨ヒ
マシテ其ノ需給ニ於キマシテハ、現在ノ馬
政其ノ他ノ計畫ヲ施行スル上ニ於テ、支障
ガナイト考ヘテ居リマス、次年度以降ニ於
キマシテハ、此ノ新設學校ガ充員シテ參リ
マスノデ、相當卒業生ガ出テ來ルト云フ譯ニ
ナツテ居リマスノデ、其ノ點或ハ一兩年ハ
多少從來ノ數量ニ不足スルコトガアリマス
ケレドモ、是等ハ更ニ文部省ト相談ヲ致シ
マシテ、施設ノ擴充ヲ圖ルモノハ圖ツテ行
キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ無論文
部省ノ所管デアリマスノデ、十分打合セヲ
シテ善處シテ行キタイト考ヘルノデアリマ
ス、臨時ノ施設トシテ今ノ定員ヲ殖ヤスト
カ、收容人員ヲ殖ヤストカ云フコトニ付テ
モ、必要ニ應ジテハ考ヘナケレバナラス
思ツテ、研究ヲ致シテ居リマス、或ハ必要
ニ應ジテ獸醫師ノ試験ヲ受ケル者ノ爲ニ、
夜ノ教授ヲヤルトカ云ツタヤウナコトヲ、
考ヘテ貰フ必要ガアルノデヤナイカト、色
色研究ヲヤツテ居リマス、ソレカラ私立ノ
學校等ノ施設ニ對シテ、助成ヲスルト云フ
コトニ付キマシテハ、是ハ文部省トモ相談

ヲシナケレバナラスコトデアリマセウケレ
ドモ、是モ一應考ヘラレルコトデアアルノ
デ、私共モ研究ハシテ居リマス、御承知ノ
ヤウニ普通ノ法律等ヲヤル學校ト違ヒマシ
テ、相當實習ノ設備ヲ持タナケレバナラス
是ガ十分ニ出來テ居ラナケレバ役ニ立タナ
イ、又東京等ニアル學校デハ、單ニ東京ニ
居ルバカリデハイケナイ、地方ニ行ツテ實
際ニ觸レテ見ナケレバイケナイ、斯ウ云フ
點モ當然アルト思ヒマス、是等ニ對シテ色
色ノ方面カラ是ガ出來得ルヤウニ留意ヲス
ルト云フコトハ、必要デアアルト思フノデア
リマス、其ノ他私共ノ施設ニ於テ出來得ル
範圍ニ於テハ其ノ利用ヲ許シテ、サウシテ
在校者ニ畜産、獸醫ニ於ケル實際ノ鍛鍊ヲ
サセルト云フコトニ、努力シテ行キタイト
考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ單科
大學ニ付キマシテハ、方々ニ於テ色々御計
畫モアルヤウニ承ツテ居リマス、是等ニ付
テハ文部省ノ所管デアリマスガ、私共ト致
シマシテハ、ヨリ高級ノ、サウシテシツカ
リシタ獸醫技術ヲ持ツタ者ガ生レルト云フ
コトハ、喜バシイコトデアリマスノデ、其
ノ實現ニ付テハ十分善處シタイト考ヘテ居
リマス

○服部(英)委員 只今ノ御答辯デ大體承知

致シマシタガ、只今承リマシタ學生養成ニ付テ、其ノ數ヲ超過シタル場合ノ如キハ考ヘル、或ハ夜ノ授業モ考ヘル、斯ウ云フコトニ承リマシタガ、其ノ研究スル、考ヘルト云フ御言葉ハ、左様ナ場合ニ遭遇致シマシタナラバ、御許ヲ願ヘルモノナリト承知シテ宜シウゴザイマスカ、或ハ考究中ダカラ何トモ分ラスト云フ意味ノ御考デアルカ念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○岸政府委員 固ヨリサウ云フコトハ實現シタイト云フ意圖デ、研究シテ居ルノデアリマス

○服部(英)委員 次ニ、是モ衛生ニ關シマシガ、現在デハ都市ノ市内ニ馬匹ヲ繋留スルコトヲ許サレナ居ナイ、是ハ衛生上カラシデ、蠅ガタカルトカ、流行病ガ起キルトカ云フヤウナ意味合デ、尤モデアリマセウガ、既ニ馬匹ニ對スル衛生ノ方面ヲ擔當スル獸醫師ナルモノガ現在ニ於テハ、又近キ將來ニ於テハ、不便ヲ感ジナイ積リデア、斯ウ云フヤウナ、御趣意ニ承リマシタガ、左様ニシテ總テノ設備ガ充實シテ居リマスレバ、衛生ノ方面モソシナニ心配スル必要ハナイト思ヒマスルカラ、此ノ際市内ニ馬匹ヲ繋留スルコトヲ許サレテハ如何デアルカト云フコトヲ、御伺シテ見タイト思

フノデアリマス、ト云フノハ、市内ニ厩舎ヲ持タナクテ、郊外ニ馬ヲ置イテ、サウシテ其ノ馬ヲ使用スル場合ニハ、郊外マデ出テ行ツテ、市内ヘ持ツテ來ナケレバ乗馬モ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ今日不便ナ有様デアリマスカラ、ソレハ衛生ノ上カラデモアリマセウガ、既ニ衛生上ノ障礙ガ除去セラレルト云フヤウナ今日ノ狀態デアリマスレバ、市内ニ繋留スルコトヲ許サレルト云フヤウナ御考ハアリマセヌカ、一方ニ於テ馬匹ニ關スル知識ヲ鼓吹シ、馬産ヲ獎勵スルト云フ此ノ場合ニ、都市内ニ居住シテ居

ル愛馬者ガ不便ヲ感ズルト云フコトハ、其ノ發展ニモ障礙ヲ來スモノデアラウト考ヘマスルカラ、此ノ障礙ヲ除去スル爲ニ、市内ニ馬匹繋留ヲ許可スル御意思ハナイカト云フコトヲ、承リタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 只今都市ニ馬ヲ繋留スルコトガ出來ルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ相當嚴重ナル制限ト申シマスガ、規格ガアルサウデアリマスガ、一定ノ規格ヲ具ヘタ厩舎ヲ作ルナラバ、都市ニ馬ヲ繋イデ差支ナイサウデアリマス、尙ホ此ノ點ニ付キマシテハ、厚生省トモ連絡ヲ取りマシテ、成タケ御話ノヤウナ趣旨ガ實行シ易イヤウニ致シタイト云フノデ、只今話合ヒヲ致シ

テ居ルサウデアリマス

○服部(英)委員 今日交通ニ專ラ自動車「ト」ラックヲ使用致シテ居リマスガ、是等ガ「ガソリン」ノ統制ニ依ツテ少カラザル支障ヲ來シテ居リマス、此ノ場合「ガソリン」ニ代ルニ馬車使用ト云フヤウナモノヲ、或ル程度マデ民間ニ強制シテ、馬ニ關スル所ノ思想ヲ厚クスルト共ニ、馬ノ生産ニ興味ヲ持タセルヤウニ、市内ヲ廻ツテ歩ク馬車ニ自由使用デハナク、強制使用セシムルヤウナ積極的ナ御考ハアリマセヌカ、詰リ「ガソリン」ノ代リニ馬車ノ動力ヲ利用シテ、以テ一方ニ馬ニ對スル知識ヲ涵養スル、斯ウ云フヤウナ當局ノ御考ハアリマセヌカ

○荷見政府委員 御話ノヤウニ燃料國策ノ最モ重要ナ時デアリマスカラ、「ガソリン」ニ代フルニ馬ノ利用等ヲ十分ニ致シマシテ、交通上ノ緩和ヲ致シテ行クト云フコトハ、極メテ適切ナ御考ト思フノデアリマスガ、是ハ現在ノ狀況デゴザイマスレバ、或ハ獎勵ヲスルトカ、サウ云フコトニ對シテ援助ヲスルトカ云フ程度デ、其ノ目的ニ副フヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマスノデ、強制スルト云フコトハ只今ハ考ヘテ居リマセヌ、遠イ將來ノコトハ私モ何トモ申上兼ネルノデゴザイマスガ、吾々ノ立場ト致シ

マシテハ、御話ノヤウニ出來ルダケ此ノ際馬ノ利用ト云フ方面カラ致シマシテモ、サウ云フ風ナ方向ニ世間ガ向クコトヲ欲シテ居ル譯デアリマスノデ、強制ト云フコトマデハ申上デラレマセヌケレドモ、出來ルダケサウ云フ方面ニ、援助ヲシテ參リタイト考ヘテ居リマス

○服部(英)委員 私マダ參考資料ヲ拜見致シマセヌノデ自信ガナイノデアリマスガ、現ニ助成金ノ交付ガアルヤウニ承ツテ居リマス、其ノ金額ハ三百万圓トヤラ承ツテ居リマスガ、之ヲモット／＼擴大シテ、私ノ考ハ少シク極端デアルカハ存ジマセヌガ、全國ノ競馬ヨリ納付セラレル所ノ收入ノ全部ヲ、此ノ馬匹ノ改良若クハ馬匹飼養者ニ分配ヲシテ、之ヲ獎勵スルト云フヤウナ御意思ハアリマセヌカ、即チ全收入ト言ハナクテモ、三百万圓、五百万圓ハ之ヲヤツテ、モット／＼大キク、ソレヲ獎勵資金補助金ニ利用ナサルト云フヤウナ御考ハナイカ、此ノ三百万圓ト云フコトハ私ノ聞イタダケデ、別ニ根據ハアリマセヌ

○荷見政府委員 只今御話ノ點ハ、馬ノ飼養補助金ニ關スル御尋カト思ヒマスガ、間違ヒデセウカ

○服部(英)委員 或ハソレカモ知レマセ

ス、獎勵金カ何カ出テ居リマスカ、此ノ競馬ニ對シテ——アリマセスカ

○荷見政府委員 地方競馬ニ對シマシテハ、賞金等ニ對シテ十二萬圓バカリノ補助金ガゴザイマス、只今御話ノ問題ハ、私ハ或ハ民間ノ馬ヲ飼養スル者ニ對スル飼養補助金ノコトデハナイカト考ヘマシタノデ、ソレデアリマスレバ今回ノ軍用保護馬ノ制度、或ハ只今御審議ヲ願ツテ居リマス種馬統制法中ニアリマス優良種牝馬等ニ對シマシテハ、相當金額ノ補助金ガ計上サレテ居リマス、或ハ御質問ニ依リマシテハ相當申上ゲタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、御趣旨ガハツキリ致シマセヌノデ……

○服部(英)委員 私ノ方ハ研究ガ足リマセヌノデ、自信ハ固ヨリナイノデアリマス、サウスルト此ノ金ハ國庫ノ方カラ出ルノデスカ、競馬ノ收入ヲサウ云フ方ヘ向ケル譯ニハ行カナイノデスカ、新ニ收入ヲ増加シテ……

○荷見政府委員 分リマシタ、是マデノ公認競馬ノ方ノ政府納付金ハ、四分ノ三以上デアリマスガ、馬匹ノ方ニ使用スルコトニナツテ居リマシタ、大體昭和十三年マデハ其ノ金額ト略、相似寄リマシタモノガ、馬政ニ關スル豫算ニナツテ居リマシテ、其ノ金

額ハ一千万圓程度デゴザイマス、十四年度ノ新馬政計畫ニ伴ヒマスル豫算ト致シマシテハ、新規ニ約二百万圓バカリヲ計上致シタノデアリマシテ、是ハ競馬ノ納付金ヲ以テシマシテハ、到底充足スルコトハ出来ナイノデアリマス、馬政ノ緊急且ツ重要ナル性質ヲ考ヘマスレバ、ソレヲ以テ充足出來ナイノデアリマスカラ、國庫カラ必要ナル經費ハ、全部歳出ニ充テルコトニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ競馬ノ納付金ノ率モ、斯ウ云フ時勢デゴザイマスノデ、相當増額致シタイト云フ考ヲ有ツテ居ルノデアリマス、競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ハ、競馬會ノ納付金ヲ増額セシムルコトニ關シマスル法律案デアリマシテ、是モ本日アタリハ、本會議ニ上程セラレルコトト思ヒマス

○服部(英)委員 私ノ希望スル所ハ、サウ云フ納付金ノ如キヲ此ノ際殖ヤスコトハ、洵ニ贊成デアリマス、ソレ等カラ生ズル所ノ收入金ヲ以テ、此ノ馬匹ノ發達改善ノ方ヘ向ケテ戴キタイト云フコトヲ、此ノ際希望ヲ述ベテ置キマス、私ハ實ハ餘リ多ク質問ヲマダ用意シテ居リマセヌノデ、私ノ質問ハ今日ハ是デ打切ツテ置キマス、他日又機會ガアリマシタラ御許ヲ願ヒマス

○坪山委員 一寸材料ヲ要求致シタイ、軍馬資源保護法ノ十三條ヲ見マス「政府ハ軍用保護馬鍛鍊中央會ノ保有スル資金ガ勅令ヲ以テ定ムル額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ヲ政府ニ納付セシムルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ附則ノ一番終ヒノ方ニ「畜産組合ガ第三十三條ノ規定ノ施行ニ關聯シ當該競馬場ニ付爲ス設備ノ處分其ノ他ノ整理ニ關シ勅令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル事業ヲ行フコトヲ得」ト云フコトニナツテ居リマスノデ、當然何カ勅令ガ出ルト思ヒマスガ、其ノ草案等ガアリマシタナラバ、至急ニ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 承知致シマシタ

○大石委員 施行細則ヲ此ノ兩法案及ビ今日併記セラレルモノ等ニ付テ、御出シニナルグラウト思ヒマス、其ノ施行細則草案ガゴザイマシタラ、御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○東委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前中ハ色々ナ差支ガアルサウデスカラ、午後一時半カラ此ノ委員會ヲ開クコトニ致シマス、左様御承知ヲ願ヒマス

午後零時十二分散會

昭和十四年二月十四日印刷

昭和十四年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局